

2020年5月29日

各位

**「地域応援車両」ならびに「緊急災害対策車両」
の導入について**

当行は、地域の皆さまに寄り添うとともに、災害発生時にお困りの方のお役に立てるよう、ATMサービスの提供のほか、電源供給が可能な発電機、衛星電話、AEDを搭載した地域応援車両等を導入しますのでお知らせいたします。

記

1. 地域応援車両

ローンや預り資産に関するご相談ブースや、省スペース化されたスリムATMを搭載したバス型車両を導入いたします。



本車両のベースとなるトヨタコースターは、岐阜車体工業株式会社さま（本社：各務原市）の製造ラインで製造された車両です。災害発生時に備えて、発電機、衛星電話、AEDを搭載しております。

平常時には各地域のイベント会場等において、ATM、ご相談ブースなどの銀行店舗機能をご提供いたします。また、災害発生時など緊急時には、こうした機能に加えて、発電機はスマートフォンやタブレット端末の電源供給として、衛星電話は基地局が損壊した場所での通信の代替手段としてご利用いただけます。また、AEDは心肺停止状態の急病人の救護に対応することができます。

A T M ・ ご相談ブース



運転席側



2. 緊急災害対策車両

発電機やAED、衛星電話を搭載した4輪駆動車を2台導入いたします。



陥没や冠水しているような悪路でも走行が可能であり、当行本店ビル（岐阜市）と名古屋ビル（名古屋市）に1台ずつ配備し、お困りの地域の皆さまのところまで駆けつけます。



3. 導入にあたり

近年、日本各地では台風や大雨等の自然災害が相次いで発生し、当行の地元でも大きな被害に見舞われることが続きました。こうしたことから、「災害発生時にお困りの方のお役に立ちたい」、「日頃から防災意識を高めて災害に備えたい」という想いを強めておりました。

また、現在は、新型コロナウイルス感染症の対策において、当行では、今まで以上に地域やお客さまと向き合い、必要とされる金融サービスを可能な限り提供するよう最善を尽くしているところでもあります。

今回導入する車両につきましては、緊急時のご要請による地方公共団体等への貸与も検討しております。

これからも、十六銀行グループは、災害時においても地域の重要な社会インフラとしての責務が果たせるよう努め、「ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ」を目指してまいります。

以 上

【本件に関するご照会先:経営企画部ブランド戦略室 TEL 058-266-2512】